

効果があるとは限らず、また自国で開発したワクチンを使用したいという思惑もあり、インドネシア国内で当面はこのワクチンを使用することは困難であると思われる。今後乾期を迎え、デング熱患者の数は減ることが予想されるが、皆様におかれては、デング熱にかからないよう、引き続き蚊対策を徹底していただくようお願い申し上げます。

5 質疑応答、各社（団体）からの報告等

（報告）

日系企業が多く入居する工業団地で高級バイクの強盗事件が発生したとの報告を受けている。犯人は拳銃を所持しているとみられ、何か情報があれば共有いただきたい。

（回答）

留意して情報収集を行い、何か情報があれば共有したい。

（報告）

上記の強盗事件の報告を受け、我が社では警備体制を強化し、深夜から早朝にかけての玄関ドアの施錠、警備員の増員等で対応している。当面はこの体制を継続したいと考えている。

（質問）

ビザやK I T A S が取得できるまでの長期出張扱いの者でも在留届等を提出する必要があるのか。

（回答）

旅券法では、3か月以上滞在している人のみならず、3か月以上滞在する意思がある人は在留届を提出する必要があるとされているので、長期出張の方でも上記に該当するのであれば、在留届の提出をお願いしたい。

（報告（J J C））

スカルノハッタ国際空港で出入国トラブルが発生した旨の報告を受けている。4月22日夜、3か月の出張者が出国審査時に、K I T A S 不保持、パスポートに出国許可のスタンプが押されていなかったことを理由に出国拒否された。その後係官から200米ドルを支払えば出国を認める旨の申し出があったが、結局それは支払わず、搭乗予定便はキャンセルし、翌日の便で無事帰国した。カラワン地域では短期の就労ビザの場合にはK I T A S カードが発行されないという特殊事情もあり、また3月からイミグレーションの新システムが稼働したことから、期を跨いで滞在した出張者が影響を受けた模様。同様のケースで問題なく出国できたという情報もあることから、担当係官の認識不足が本件発生の原因と考えられる。